



通期決算の概要と 今後の戦略について

2018年5月16日

2017年度 通期決算の概要

2017年度 ハイライト

➤ 売上高は、4,609百万円（前年度比2.2%増）

前年度比	光部品	▲8.5%
	光測定器	+11.1%
	システム・ソリューション	+0.6%

➤ 営業利益は、665百万円（前年度比4.8%増）

前年度比	光部品	▲49.5%
	光測定器	+69.6%
	システム・ソリューション	+2.6%

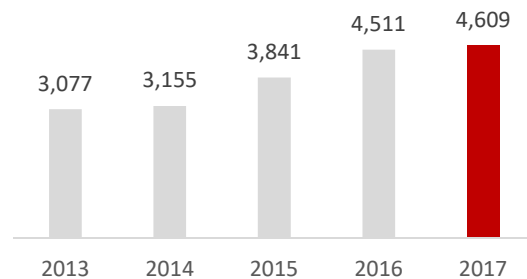
連結業績

売上高は業績予想を下回ったが、前年度比で増収増益となった

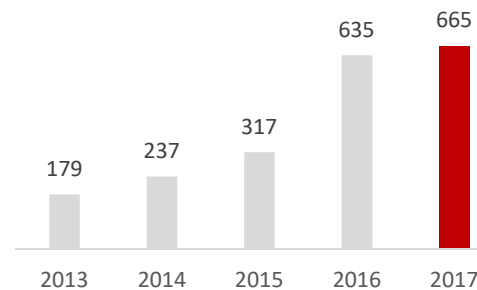
(単位：百万円)	2016年度	2017年度	増減額	増減率
売上高	4,511	4,609	98	2.2%
EBITDA *	793	822	28	3.6%
営業利益	635	665	30	4.8%
当期純利益	495	556	60	12.2%

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

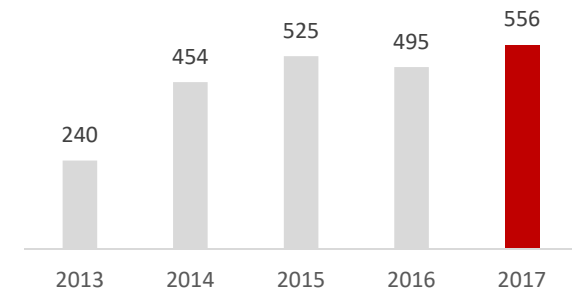
売上高



営業利益

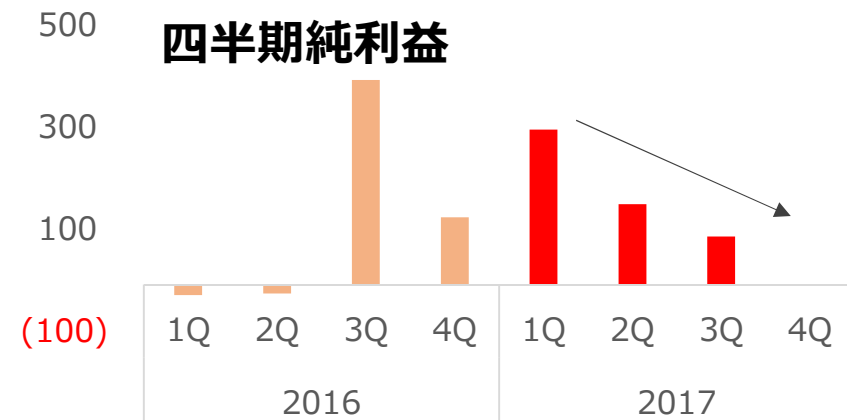
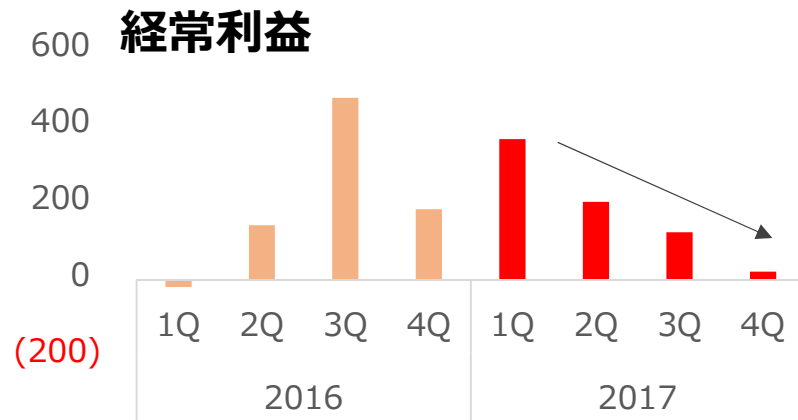
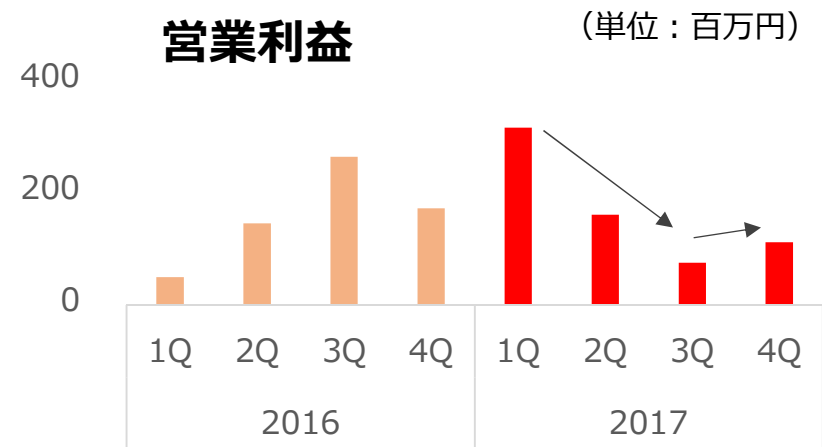
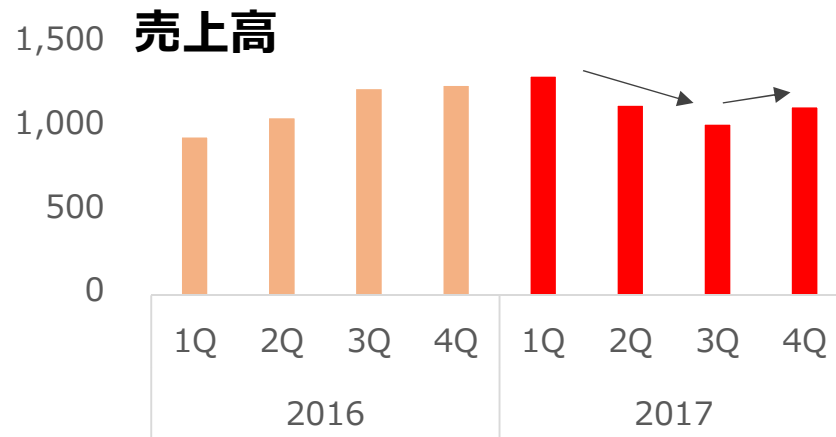


当期純利益



業績推移（四半期推移）

2017年度は売上が上期偏重、下期は為替の影響で経常利益、純利益減少



資産、負債および純資産の状況

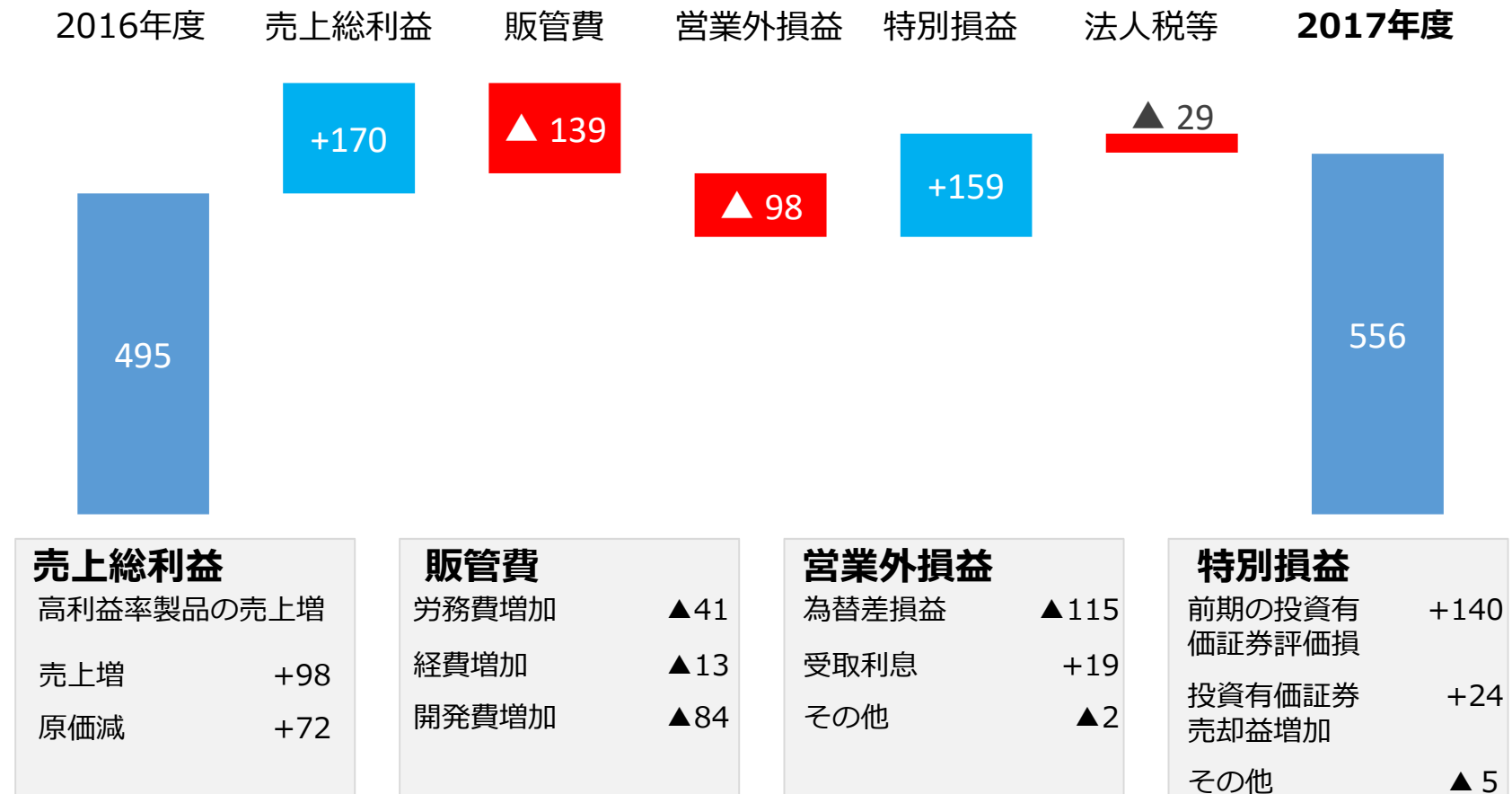
財務安全性を維持

	2016 年度末	2017 年度末	増減額	
(単位：百万円)				
流動資産	3,920	4,194	274	現金増加 2.3億
固定資産	5,421	5,443	21	
総資産	9,342	9,637	295	
負債	1,235	1,242	6	
純資産	8,106	8,395	288	当期利益増 5.5億 配当金支払 (1.5) 評価差額金 (1.1)
負債・純資産合計	9,342	9,637	295	

当期純利益の前年度対比分析

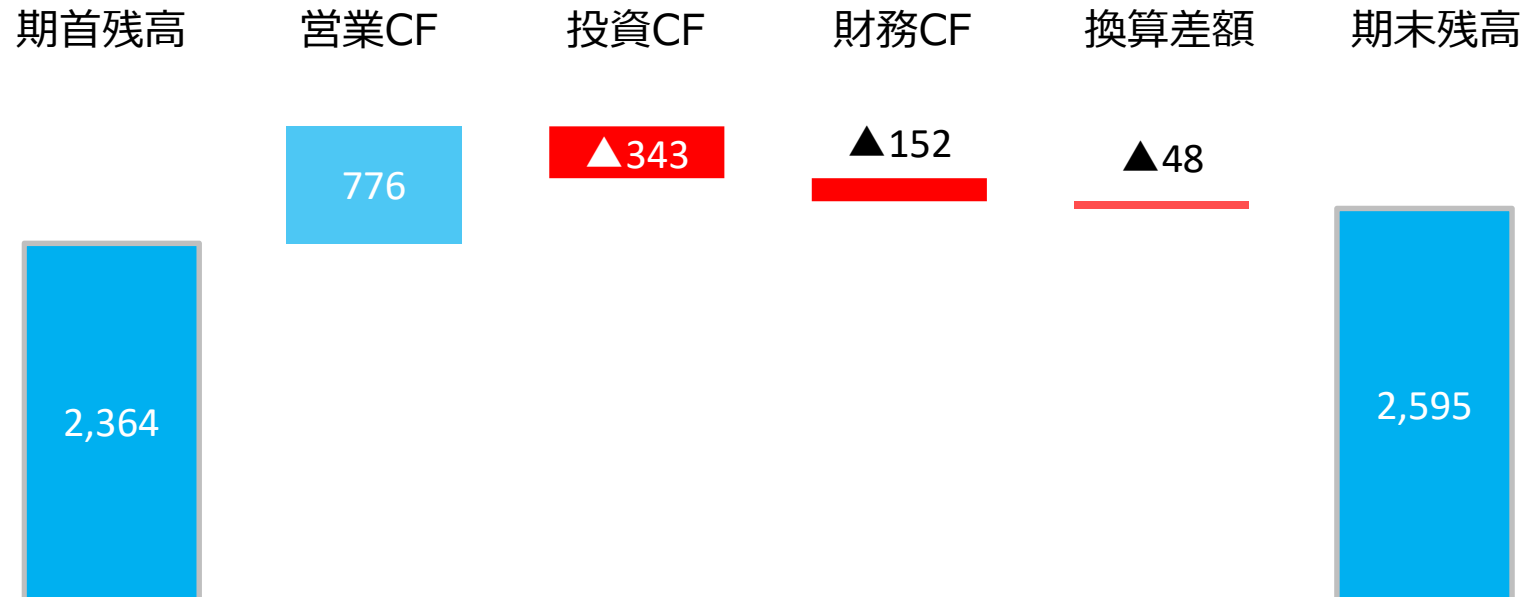
高利益率製品売上比率増、前年度のような特別損失なく、利益は60百万円増

(単位：百万円)



キャッシュ・フロー

(単位：百万円)



営業CF

税前当期純利益	+ 740
減価償却費	+156
法人税等支払額	▲119

投資CF

固定資産等の取得	▲90
投資有価証券取得	▲548
投資有価証券売却、償還	+295

財務CF

配当金支払	▲151
-------	------

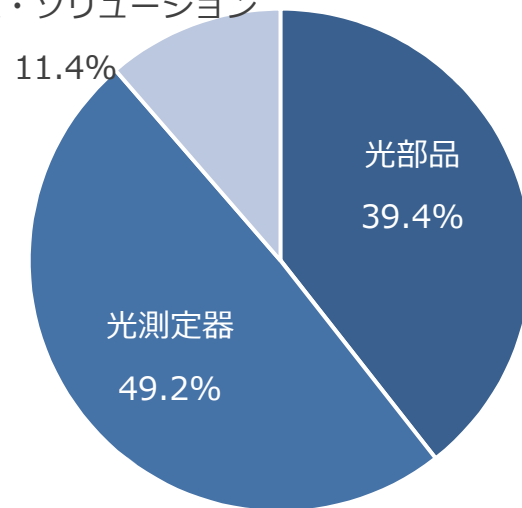
事業別売上高

(単位：百万円)

	2016 年度	2017 年度	対前期		概況
			増減額	増減率	
光部品	1,777	1,627	▲ 150	▲ 8.5%	北米向けアッテネータが期初予定下回る
光測定器	2,219	2,465	245	11.1%	Laser(波長可変光源)が伸長
システム・ソリューション	513	516	2	0.6%	
合計	4,511	4,609	98	2.2%	光測定器事業が牽引

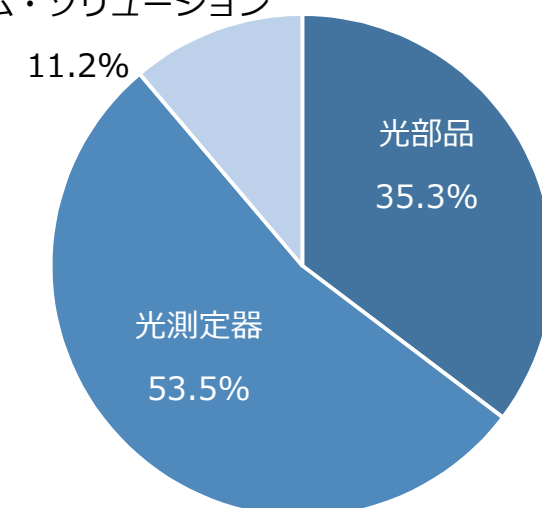
2016年度

システム・ソリューション



2017年度

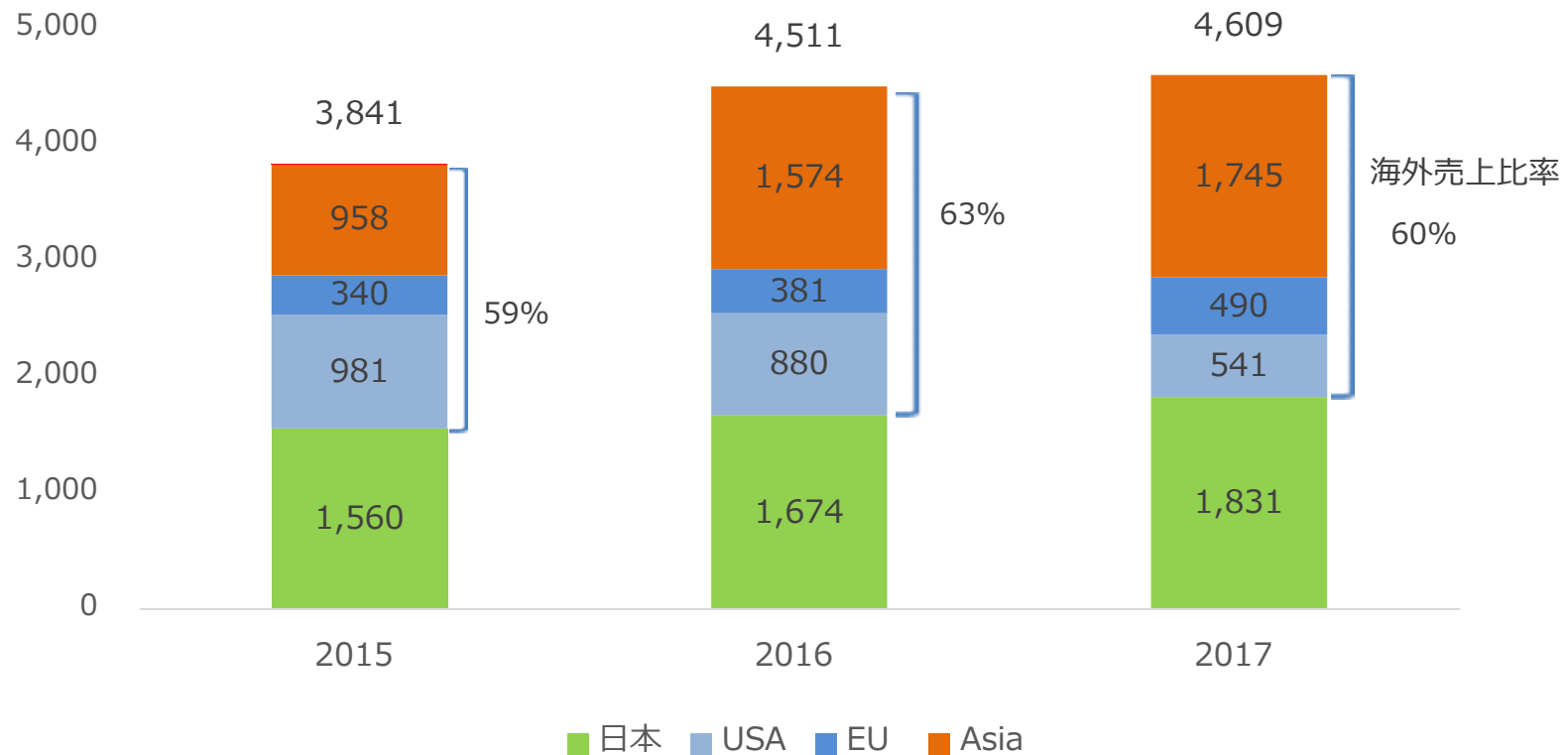
システム・ソリューション



地域別売上高の推移

日本以外への売上（海外売上）比率は、約6割

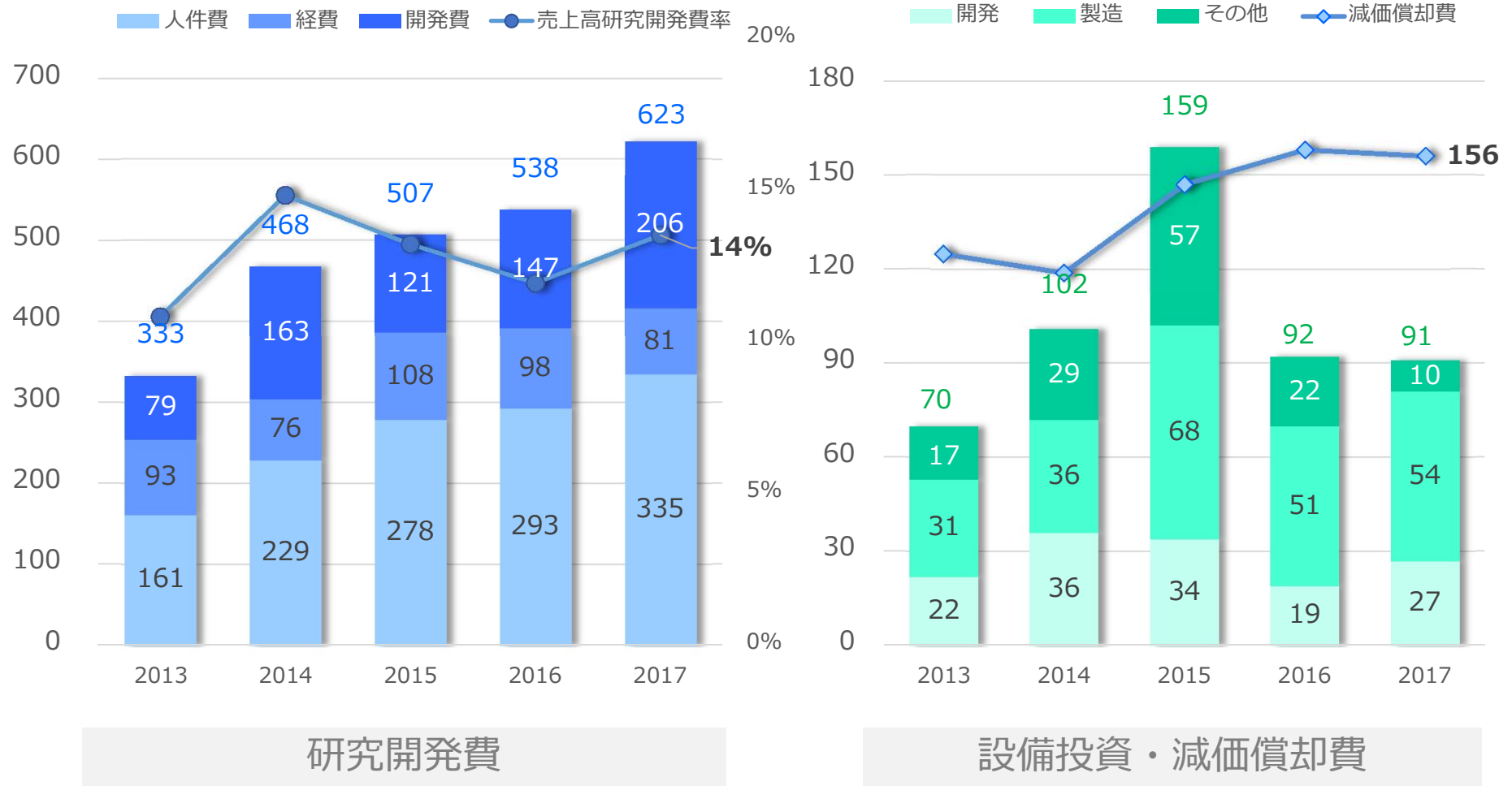
（単位：百万円）



* 売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

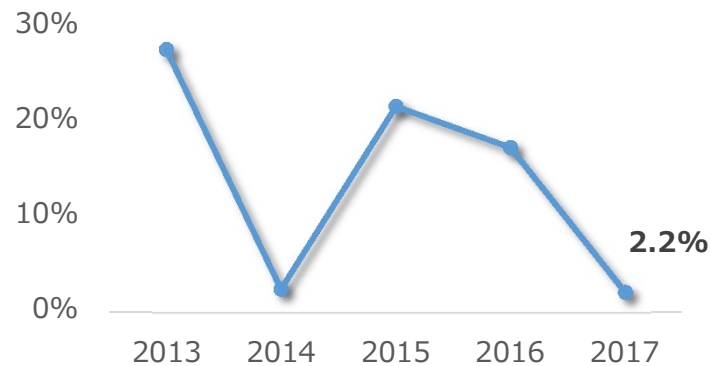
研究開発費・設備投資・減価償却費推移（連結）

（単位：百万円）

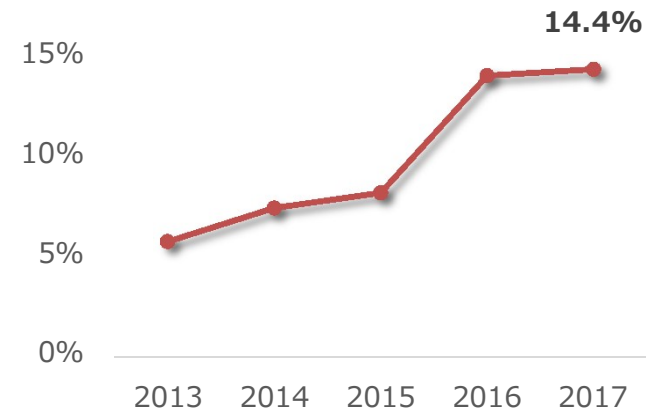


主要データ

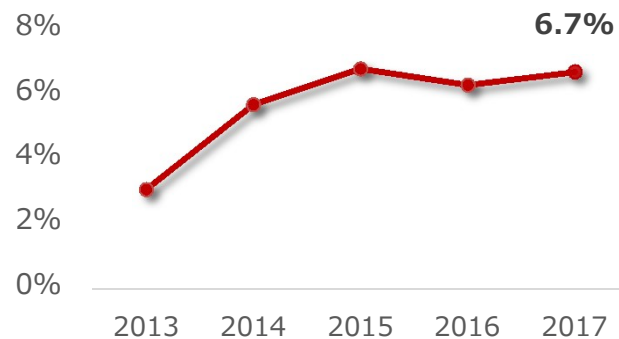
売上高増収率



営業利益率

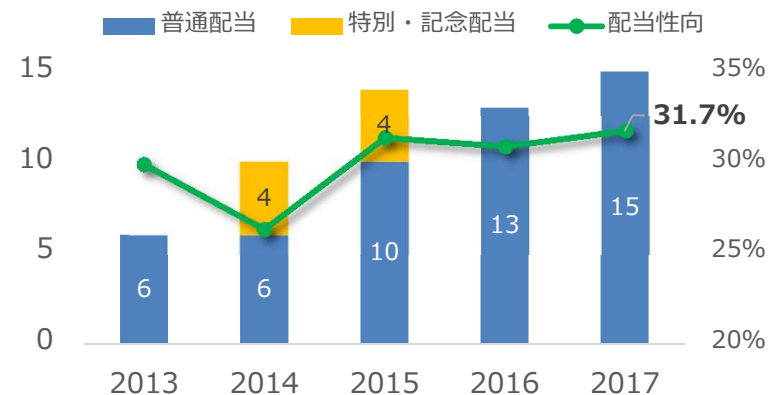


ROE



配当推移

(配当額 : 円)

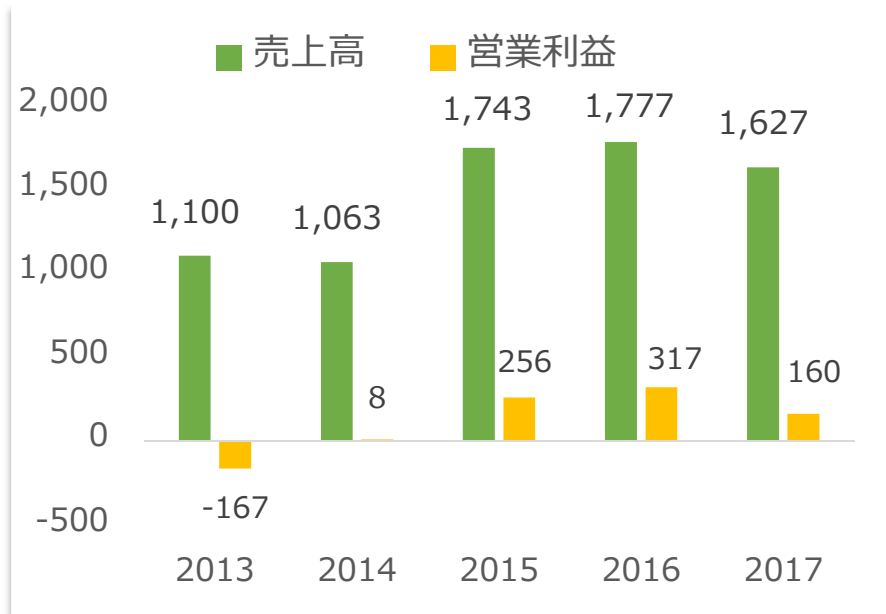


事業別の課題と戦略について

光部品関連事業 (2017年度)

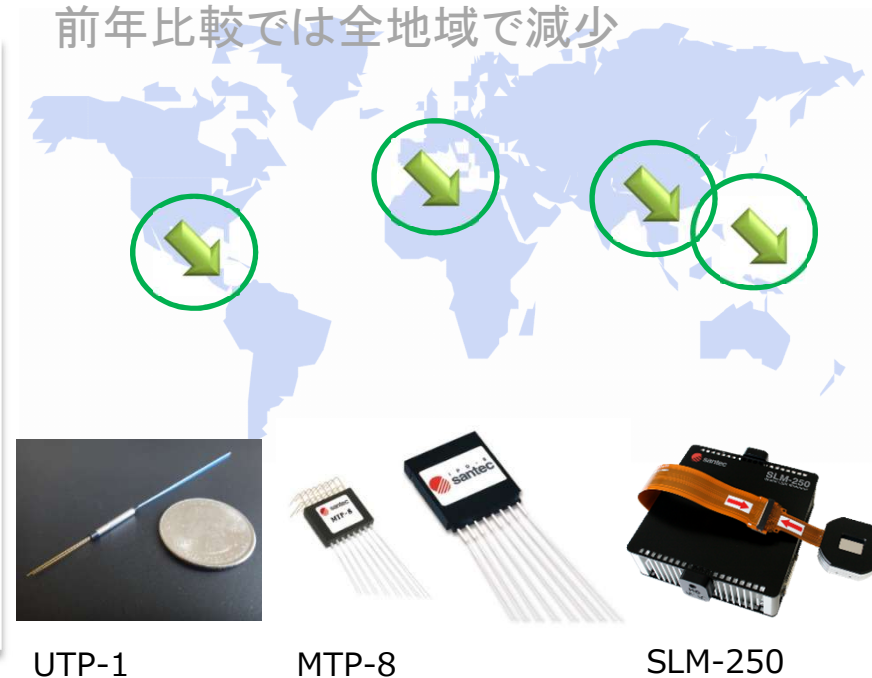
セグメント業績

(単位：百万円)



地域別前年度売上比較

前年比較では全地域で減少



要因分析

- 北米向けのアッテネータ売上が想定外れ発生しなかった
- 2017年度前半に好調であったフィルタ案件が後半に伸長しなかった

光部品関連事業の市況と戦略

市場構造



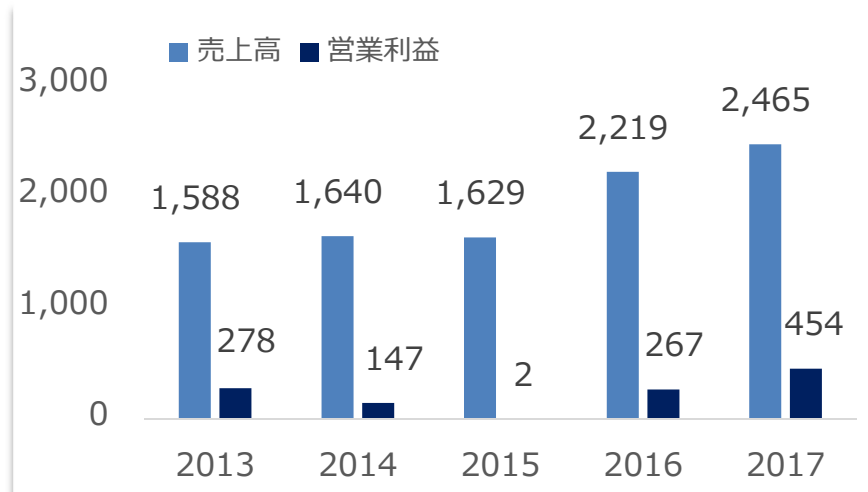
今後の課題と戦略

- 市場から求められている小型化、複合機能化対応新製品の早期リリース
- 中国市場からの需要にこたえるグローバル営業体制強化

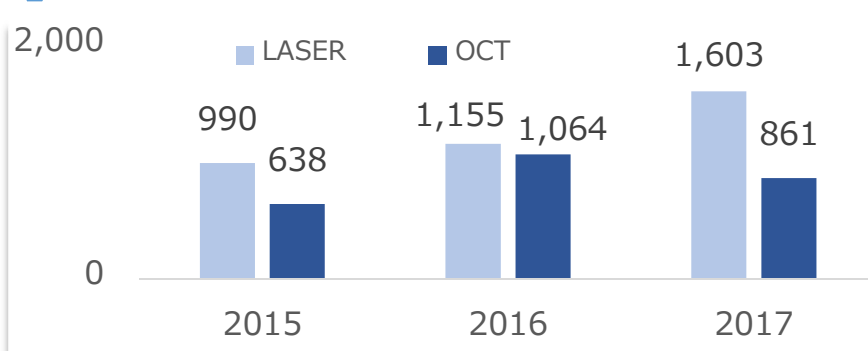
光測定器関連事業（2017年度）

セグメント業績

（単位：百万円）



売上内訳



地域別前年度売上比較

	日本	米国	EU	Asia
LASER	▲	▲	▲	▲
OCT	▲	▼	▲	▼



波長可変光源



OCT光源



ARGOS

要因分析

中国における旺盛な設備投資を背景に、製造現場向けを中心に波長可変光源が好調に推移

光測定器関連事業の市況と戦略 (LASER)

IoT 5G
シリコンフォトンクス



製造現場



研究開発



波長可変光源



▶ 外部環境としては、ネットワークの高速化、大容量化、IoT、5Gへの対応等を考慮すると、波長可変光源への潜在的需要は大きい

▶ 製造現場向け波長可変光源の需要については、現段階で一段落している。

▶ 新技術のシリコンフォトンクス等の研究開発では、広帯域化、高速表示の要求がある。

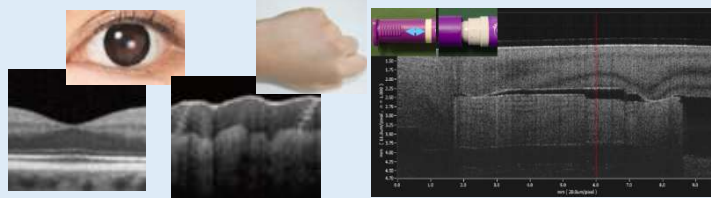
光通信産業以外における
光源ビジネスの模索

今後の課題と戦略

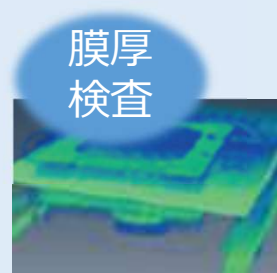
- カスタマーサポートの充実とトータルソリューションの提案でシェア拡大。
- 大学、研究機関との関係強化とR&D向けに対応できる新製品開発を加速。

光測定器関連事業の市況と戦略 (OCT)

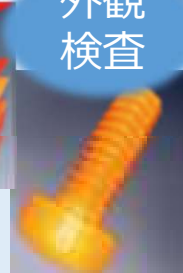
様々な応用が期待されるOCT*



膜厚
検査



外観
検査



工場ライン
を止めるこ
となく外観
検査が可能

*産業用の計測は、厳密には、OCTではなく、分光分析技術



ARGOS®品質が高評価

欧州の眼科医療業界紙CRST内の
企画で「DATA FOR CATARACT
SURGERY」賞を受賞



今後の課題と戦略

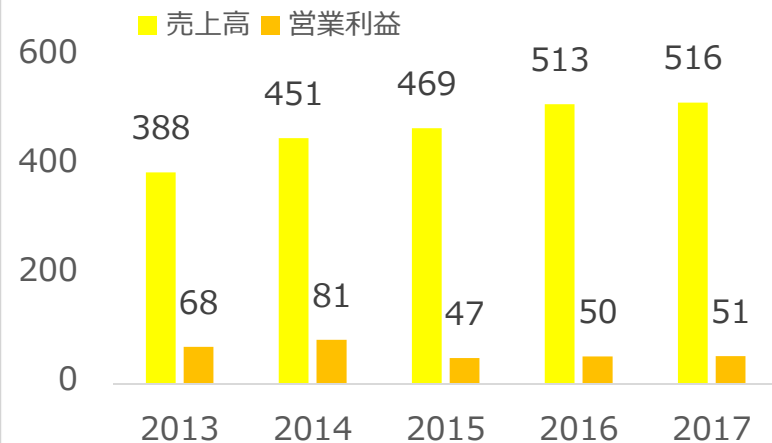
- OCT光源の産業向けアプリケーションをさらに開拓、拡大。
(国内で順調な産業向け需要を海外でも模索)
- 新光源の開発スピードの加速による早期新製品リリースを目指す。

システム・ソリューション事業

当事業においては、平成30年2月28日付けで、RSUPPORT社との代理店契約を終了しております。

セグメント業績

(単位：百万円)



New

ONLINE Screen Assist

外出先から会社で利用しているPCに接続。いつでもどこでも事務所の業務作業環境を提供いたします。

ONLINE Screen View

PC画面共有による「リモートサポート」、遠隔保守を実現する「リモート保守」に対応いたします。

今後の対応について

上記サービスの他、働き方改革、業務効率化等に貢献できる新規商材を投入し、早急な事業立て直しを図ってまいります。

2018年度通期予想

基本課題 「新製品開発とグローバル営業推進加速」

(単位：百万円)

	2017年度 通期実績		2018年度 業績予想		対前期	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	4,609	100.0%	4,700	100.0%	91	2.0%
営業利益	665	14.4%	660	14.0%	▲ 5	▲ 0.9%
経常利益	714	15.5%	710	15.1%	▲ 4	▲ 0.6%
当期純利益	556	12.1%	570	12.1%	14	2.4%
年間配当	15円		15円		-	

■米ドル想定為替相場

2018年度（平成31年3月期）における米ドル為替相場は、「期中平均108円」と予想しております。

用語解説他

IoT（Internet of Thingsの略）：モノをインターネットにつなぐこと。

5G（5th Generationの略、第5世代移動通信システム）：
超高速、低遅延、マルチ接続を可能とする次世代の移動通信システム。

シリコンフォトリソグラフィ： 光通信で利用されるさまざまな機能をシリコンのチップに埋め込む技術。

通信キャリア(通信事業者)：
固定電話、携帯電話等の通信サービスを提供する会社の総称。
「音声やデータを運ぶ」ということから通信キャリアと呼ばれる。

OCT(Optical Coherent Tomography 光干渉断層画像)
光の干渉という性質を利用して、生体や物質の断層画像を見ることが可能となる技術。

* 「ARGOS」は、santec株式会社の登録商標です。

Copyright©2018 Santec Corporation. All rights reserved.



本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果はこれらの見通しと異なる可能性がありますことをご了承ください。

本資料に関するお問合せ先

s a n t e c 株式会社
執行役員業務部長 山下 英哲
電話 0568-79-3535 (代表)
URL: <http://www.santec.com/jp>

〒485-0802
愛知県小牧市大草年上坂5823
フォトニクスバレー 大草キャンパス